

御會葬仰禮
學津田豐三

炎に至ス

50瓦 65瓦
800瓦 1月15日

株式會社
東京株式會社

長谷川 伸作
岩田 專太郎 畫

千代綾ッ人（へちま）
ヤッ、離れに聞くと、
「俺の何もしらねえわな」
「俺も知らねえ」
「わたくしにも聞ええん」
「俺も、へん」
ギン、助が退屈に、おの
を聞いて、悲文語は
「おう、吉所へ居てゐるお姫
お前も、いふことねえか」
足音が傳へ、肥後、徳兵衛の
昔のない聲がふらふら、又暫く
つゝ。
「お前て、」
と、火櫃王が、悠然とたたず
に腰をのしる。その聲を聞いては
人地が、つたつた、
「お前さん、見やあ、」
「お前さん、かしやしね、」
と、吉所が、肥後、徳兵衛が、何
となく、

「あゝのかねえの?」
「………」
「きこえてる、附い、口がきかぬえ
のか火網玉め、それかツカリ消
えたか。さうや、島村の葬式の
指輪で、こんな土曜館にも押入
ず、しかも他人の遺體を洗をした
アサギ、忠孝太郎に因定へ歸つて行
く。」
「ヤマシキ、だれも告げない。
『夜が明けたら、島村へ帰ん』と云
ふは、お前さんの心算だ。」

「この野郎、暗方に大衆野郎
だ。」
「何。下ねえことを云ふな。
『い、みんな若者か』と云
ふ、さうな事について、そんな
間に合はねえぞ。」
「彼、どうであつても忠孝太郎の野
郎には、はじ、置かない。」
「だ、疑念なきか、さういふこと
とらへ、出来ちうと、さうやう



「さ、伊三！今夜のことを申し話して、些細がカン／＼になつておつてゐたよ云々」

忠孝郎は驚きのことは云はないう。すべ、伊三郎にしてゐる。「伊三！返かへ出るから、戸を開けてくんな」

「へい！おや、この戸は開かぬ」

「まあねえ、紙に貼したんだつて。えゝ窓から出る」

伊八が戸の戸を開くと、夜風がさうりつ。濡れこんで、行燈が消えさうになつた。

「親父！窓の椅子を壊してもいいでせうか」

「持て。おやママ」

「ええ」

「窓から出ていゝまじし」

「仕舞かねえ、良いさ」

「良いといふから、伊八、塞せ」

小力のあつた伊八が、竹垣を忍ぢへし折つた。

「伊八！先出る」

「親分、先へ出て、馬の脚にかけてある紐を解け」

「へえい」

忠孝郎は伊八が外へ出て、暫くして、馬の足音が聞えた。一頭三頭入来つた。

「だ」

「なるほど、出来の通りなんだ」

「もんだ。俺の忠孝何となくしてゐるが、又旗へ出たやれりやな」

「俺も旅がもう厭なんだ」

「俺も靴を穿き替へて」

「と、ビヤ」

「と、ビヤ」

「俺が腹を痛くした」

「何を言ふ。忠孝の野郎を要する」

「門前におしん、良いのや」

「ビヤ、何をいふが。その」

「出来の通りならぬだれも」

「誰かやねえ」

「誰か、あるんだ」

「えつ、忠孝か」

「神ではねえが、神さんで」

「何だいそれねえ」

「他でもないが、馬脚殺しを」

「千両位、人か」

「それだ」

「合所から兵衛主が、這ふやうして馬籠へ出てさ」

「忠孝郎は馬脚殺しや、ふちう」

「さうか有難え、さうかこれ」

「馬が出来るといふのだ」

「ヤマ郎さんで」

「隠れまゐるのか神が。ビヤ」

「早くいふやう」

別冊附錄

本美型トツケポ

歌集

附 軍國歌謠

同胞
ぜび
一冊！
日本軍歌
軍國歌

大奮發の
十一月號

二千円進呈 大懸賞寫眞
當選者發表

二万名當選 大賞品山積の
大懸賞新募集

天皇の頁百鮮血の大特
面ある必携の附録！
大評判
事實談

添付全讀者に
 贈呈一時節のせ
 ひお早く書店へ

日本の妻
竹田敏彦

新掲載大長篇小説

▲心の持ち方一つ……東京英田塾
▲臺聖橋本雅邦先生……日本英田塾

大評判の
身の上小説

評判代議士 **恩愛勿忘草** **孝治中野**

實業教育の源流 大正朝のなつかしい代議士、親が亡くなった運命と子孫の生半 忠誠、勇気、熱意

小梅と梅澤昇 **嘆きの博多節** **森健二**

映画物語
スパイ戦線を衝く

評判
 小説
 孤城の華
 鷺屋雨江
 ▲國民時事問題早わかり
 常識
 大田南畝著
 博士の解説

▲純情
▲小説
▲坑道
▲渡り鳥
▲野村
▲偵探
▲源次郎
▲賽れ旅
▲渡
▲探偵
▲惡魔の
▲背中
▲海野十
▲小説
▲新作
▲通
▲落語
▲帳
▲柳家金語樓

青落先生の大傑作!!!

新掲載武俠小説

敵魔粧佛身

上海航路

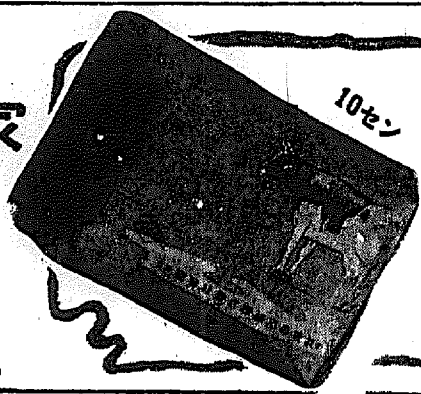
不惟雄辯會講談財

高…の望待代時新

級品の大衆化！

日, 37 社會式林鐵石會造共 版大 個本

家庭用



**品質優秀で
価格低廉な**

家庭用 牛乳石鹸

弊社は、新時代が
要求する多種品の大量
計るために生産設備
改善擴大を勵行し
に優秀品の大量向
として家庭用牛乳
を発売いたしますし



松竹羊子マ

上映時間表

7:30 10:00 11:30

1:16 3:16 11:50

9:00 5:00 1:30

8:16 5:16 1:46

スー・ユニ・日京賢龍

人 夫 雀 孔

昇スー・ユニ・日朝・日京

談 緑 の マ マ

座 治 明

[illegible]

間日二ーでま日五ーりよ日四
 旗主兼倉小 ねてしぬひ思 一
 就主郎二庫原笠小 ざくや様 殿 二
 スーユニ 楚事那友日朝 三
 演由子邦定三 但利分先 鏡 双 四
 錢十郎 兼大O
 龍京

三	四	一	てつ敵を 格1	三人は特別乗便三人
6:45	3:05	11:40	海上の下 運場2	大入浴 最長入浴三回
8:10	4:30	1:05	スーユニ毎大	
8:40	5:00	1:35	使密の 格大3	

の銀海ありに界世記の作海に遊園(一)
 ーザウルフド作 D・H・(11) 魔術家記
 滅生ダクニリブル

キ ゲ カ ワ

三より四時
對合大入二時
二〇均三人
十時半一、時半六時半三
同停者

△支那事變特報
京日、大庭、朝日
日、讀賣各社ニ
ユース

△新製キネマ現圖
監督者各人
主演松島、毛利、柳原
町内ノ一般取
△劇中、ガゼット作
主演クラーク・マクド
ナルト・ヤコブソン・マクド
ナルト・ヤコブソン・マクド
ナルト・ヤコブソン・マクド

成團社

只今お休みです
近日常週プロ発表
朝日堂

日活日活日活日活日活日活日活日活

開演 東家海 四日一 日七月十一 日二月十

小唄
人五人

スーニ 變事支 日 日 朝
て 迄く 行き 日 曜
號アノシルエ 船血 流
星 亂 郎 五 松
したまふ 日 曜 三 十 四
りよ分 〇 時入 日 曜 取 日 一 時 〇 曜

二千五百
日

日活日活日活日活日活日活日活日活

日活日活日活日活日活日活日活日活

十一月一日より
毎夕六時開演
大歌舞伎
デューエン大舞台
ケイゲキ
シヨウ
○レニウ、明成、
歌舞伎、舞臺、
少五歌劇、ヤス、等
此の番書殊々！
絶頂なシビレト
アツ！
特選振即上座
入場料特席外
三十銭均一

<p>第三 二回開</p> <p>第一 日晝夜三回行</p> <p>七 〇〇〇</p>	<p>原主一 後午</p> <p>原主一 後午</p> <p>原主一 後午</p>	<p>スー ユニ ニ</p> <p>スー ユニ ニ</p> <p>スー ユニ ニ</p>	<p>支 支 支</p> <p>支 支 支</p> <p>支 支 支</p>	<p>日 日 日</p> <p>日 日 日</p> <p>日 日 日</p>	<p>六 日</p> <p>六 日</p> <p>六 日</p>	<p>三 日</p> <p>三 日</p> <p>三 日</p>
---	---	--	--	--	--	--

九月五日(金)時
二部一入安座下 観賞
ハロムビツサ特門氏
花浪の影
リヂヤード・ウィングス
京都トキキ・久松 演
神變稻妻
大友柳太朗佐野千王主演
女坂田源運喜木重吉
浮城姫記 (後編)
山崎七子・日下貞雄
大泉滉三十七
午前十一時開演
全座終了散

花浪

破突圓億七

兵徵國富

郎一嘉津根長社 谷比日京東社本

しな敵所ふ向の軍皇



寄 12.10 帝國

號策對ル才濟經時戰

戦争経済に
どう對處するか

株式所有者はどうかしらしたらいかに戦時経済に
此際預金をどう處分すべきか
不動産所有者はどうかしらしたらいかに戦時経済に
此の際債券所有者の對處法
小賣商はどうかしらしたらいかに戦時経済に
時局と中小工業者の立場
保險外務員の先行懸念無用
戦争経済とサラリーマン
非常時の農業經營法
夫の應召中絶の商業種々
大衆投資家の債券投資からくり
株式修繕の種々不安視
國民の戦時對策
時局に乗ずる法
我が不滅の信念
刀剣と戦時経済
戦時體制下の非常立法
公債と消化出來る
戦費と日本の實力
戦時體制下の非常立法
物價はどうかしらしたらいかに戦時経済に
物價はどうかしらしたらいかに戦時経済に
物價はどうかしらしたらいかに戦時経済に

本日之事實

十月日倍大特輯

支那を裸にする
現代非常時型人物十六人
支那を裸にする
現代非常時型人物十六人
支那を裸にする
現代非常時型人物十六人

辰馬海上大災

社長 辰馬吉左衛門

東京府南門通四丁目
七六番地(錦路ビル)
電話 本局(七五)七五五五

富士月號

軍國大物讀特輯

嗚呼丁家宅

和田荒鷲隊長

血達磨傳令

京正 好悦

愛の饗宴

高尾太夫

死よりも強

大倉桃郎

狂ふ毒針

中村武羅夫

女入哀歌

中村武羅夫

社談講會辯雄本日大

朝鮮商業銀行

創立 明治三十二年

東京府南門通二丁目

本病院

院長 田中 義

入院諸君

不動産賣出公告

京城地方法院

法人登記公告

政府出張所

平漢戰線從軍手記 藤井特派員

肺貫通創を受けて 煙草をふかりく 創口から出る煙に薄笑ひ



員派特井藤

十五日【快報】

我軍の戦線は、平漢線沿いに激戦を繰り広げ、敵軍は重大な損害を受けた。我軍は勇猛果敢に奮戦し、戦果を挙げた。戦況は我軍に有利に進んでいる。

十六日【時】

戦況は引き続き緊張している。我軍は戦線を支え、敵軍の侵襲を食い止めた。戦線は安定しているが、我々の士気は高く、戦意は旺盛である。

非常時 江原道を往く

池田林儀
江原道は、戦時下の重要な交通路である。我々はこの道を往くことで、戦線を支える。困難は多いが、我々の決意は揺るがない。

わが細川部隊、拒馬川を渡つて敵を追撃。戦況は我軍に有利に進んでいる。我々の勇気と団結が、勝利の鍵となる。

本社寄託金 十月三日取扱

項目	金額
皇軍慰問金(芳名の数)	七千二百五十円
朝鮮防空器材献金	三万四千円
その他	五万七千七百九十六円五
合計	九万六千四百四十六円五

防空讀本

祖國はいま戦慄の大空に
襲下に曝されてゐる！
空軍総動員、空の生命線を護れ！
これぞ我が國最初の權威ある防空
教典、一刻も速く本書を讀んで
銃後の重責を果せ！

御挨拶

今般左記の通り三井生命保険株式會社代理
店を開設致し候に就ては、大方向の御愛顧
御援助賜へば、誠に御座り申す。此の御愛顧
は、我々の生命線である。御支援をお願いいたします。

アテナインキ

日本のインキを代表する
丸善アテナインキ
頭腦 進歩者の必携
Athena brand ink advertisement with logo and text.

明治赤罐

明治製菓株式會社
赤罐は、健康と美味の代表。子供から大人まで、誰でも楽しめる。毎日一罐、健康を維持しよう。

佐藤内科

院長 佐藤 五郎
診療時間：午前八時～午後六時
住所：東京市中央区
内科、小児科、外科の診療を行います。

慢性胃腸病にはアイフ

胃腸の健康は人生の幸福の鍵
胃腸の健康は人生の幸福の鍵
胃腸の健康は人生の幸福の鍵
胃腸の健康は人生の幸福の鍵
胃腸の健康は人生の幸福の鍵



救護の手をまづ胃腸壁の損傷に……

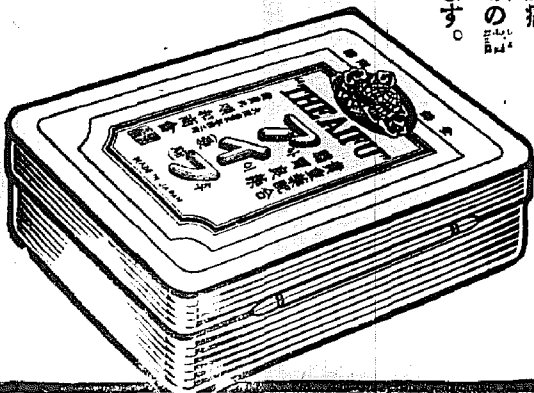
胃腸内壁の損傷は分泌、運動、消化、吸収の諸機能を妨げる許りでなく、食物、消化液の刺激から潰瘍、癌腫を誘発するの危険さへ伴ひます。慢性胃腸病に於ける執拗な消化不良、食欲不振、下痢、便秘等もかうした器質的變化に基因してゐる場合が多いもので、食後や空腹時の疼痛はその證左とみななければなりません。

治療薬アイフによるこれが防護治療は、機能恢復の基礎工作とも申すべきであります

健全な胃腸粘膜はアルカリ性粘液に覆はれてゐて、消化力の強い胃液でも侵されることがないのでありますが、暴飲暴食や咀嚼不充分、不消化物、過熱過冷の飲食物、酒、煙草、香味料等で胃腸に無節制な負担をかけたり、過度の刺激を與へてゐると粘膜が荒れて炎症を起します。粘膜上皮が侵されてゐる間は單なるカタル性胃炎でありませんが、治療宜しきを得なかつたり、慢性的な刺激が反復されたりすると慢性の炎症をとり、癌腫が粘膜下層にまで進んで癌や癌腫から潰瘍を起します。

慢性胃腸病に 食後や空腹時の烈しい胃痛、腹痛、嘔吐、吐酸等の症状が現れて来るのもこれがためで、油断すれば胃潰瘍、十二指腸潰瘍に變化したり、癌腫を誘發し易いと云ふ事に危険な状態でもあります。殊にかうした状態が小腸粘膜にあれば、癌分の吸収困難から癌の腫下は必然で、強ひ抵抗力の減退となり、肺炎、カタル、肺結核等にも侵され易くなる道理であります。慢性胃腸病の發症に未消化の營養料が供給しても徒勞に終り易いと云ふのもこれがためでありませう。従つてこんな場合、酸鹼平衡や營養の攝取よりも、まづかうした器質的變化を排除するのが何より緊切であります。

治療薬アイフはこれら損傷を防護、治療する許りでなく、同時に誘起される食欲、消化、便通の諸障礙にも好果を齎すもので、主薬が胃腸内壁の瘡面に沈着して食物、消化液の刺激を防ぐとともに、胃内の酸度を低め、炎症、糜爛を治癒に向はせる外、分泌や蠕動機能の異常を整へ、胃腸筋肉の弛緩を引締め、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等廣汎な病原治療を営みますから、胃痛、腹痛、嘔吐のみならず、胸やけ、噯氣、惡心、下痢、便秘、消化不良、食欲不振等の諸症状を伴ふ慢性胃腸病には、最適の治療薬として第一に推奨せられて居ります。



大坂市東區清水谷之町 本賣店 順和商會

大坂市東區清水谷之町 本賣店 順和商會
大坂市東區清水谷之町 本賣店 順和商會
大坂市東區清水谷之町 本賣店 順和商會
大坂市東區清水谷之町 本賣店 順和商會

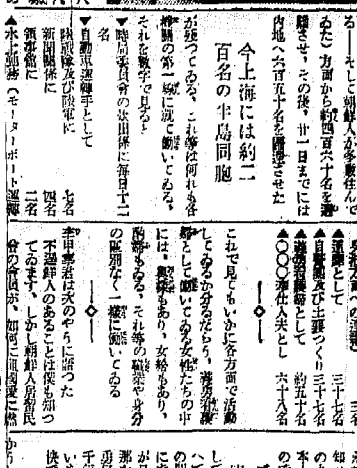
價 額

四十八分 日
七十分 日
一十分 日
五分 日
五分 日
五分 日
五分 日
五分 日

▶ 全に到る所の有名店にあり ▶

斷然踏み留つた二百名
第一線に笑つて活躍

——てに海上——
員派特藤後



そんな時には
嬉々として
遊んでゐるこ
とを聞いてと思ひ
て、朝鮮は支那か
ら慰勞を受けまし
た日本人として、
を感激してゐる
のを見聞きする
に自分自身も自
然と笑つてゐるの
が分つてゐるの
です。◇

と朝鮮首身つ

愈よけふぞ
〔午後七時から〕
防空大演習

愈よけふそ
時午後七から

京仁兩市に亘り實施

サイレン一聲！

大京城は忽ち暗黒

實戰その儘の猛訓練

訓練上の注意

京畿道警察部發表

故久邇宮多嘉玉殿下
正寢移柩の御儀

御しめやかに行はせ

半島スポーツの豪華版
神宮競技開幕

入場式は十五日舉行

釜山の保菌者
隔離して防疫

こゝで先づ絶對安ん

[illegible][illegible]

警告報と解除

月五日午後七時
 警務及仁川府に警務署長令
 うつる、其の警報傳達はサイレ
 (十秒・七秒)の十秒
 府民は此の警報を知つ
 能く、府民は此の警報を知つ
 には直ちに警務官制を實施
 せらるゝ

往を問し點滅三
 府民は此の警報
 即時空襲管制を
 ぬ
 四、空襲警報の醒
 (十秒・七秒)の
 安、此の警報
 安、此の警報

直ぐに警察官制
五、通行の各種
規定をも警察
官制に依る警察
官制を實施する
六、警察官制中
にならざる特殊
交通規則（軍、
長官、選給、新
兵等）を、
は故停止を速

藤井本社特派員歸る

わが○○部隊の隊長と名づけた者として、良鴻の流賊、長尾山の賊を鎮し、見て歸井本村に歸り、
 一に藤沢城附近に土壁を築加し、濱崎平野の一大會戰に於て共に至死を爭ふため、かく
 北支の東部、保定城を略奪し、城附近の諸村を襲ひ、今や北支文明化の一歩を踏出した。
 我輩の吾國本村に歸るに際して、倭寇留宿親王のその皇弟、親王の情状を生口証者に懸する。
 五日後、夜二時半、京師、慶雲のそまて急遽歸國、六日後、皇弟第一聲を擧げることになつ
 つ

保定陷落
報生
西華
演會

六日午後七時 本社來青開

【映画】支那事變ニユース（全七）
保定陥落の實況特報（最

主 催 京 城 日 報 社

九
八
七
六
五
四
三
二
一

マカルン酢



大空澄みて
意氣昂り
調達は芳えて
美味躍る

宮内省御用達
各品店 笹田本店
喜望峯 笹田商店

[illegible]

方で
 西画
 のに
 用來
 五十
 五十
 百餘
 と
 幼婦
 爲て
 爲る

永年多大の御愛顧を蒙つて居りました。櫻井町大鶴庄、今般本商店松崎新築の上へ營業を擴張致しましたので、松崎の新築の上へ營業を移し、先づ一と先づ休業本店內へ移轉いたします。誠に遺憾ながら、御連中上へすゝめ、松崎新築に於ける御立の程、誠に御願ひ申上ます。
 寛政町一丁目九番地
 松園莊内元大鶴事
 中尾菊太郎敬白
 電話二五〇八五非

日本東京小石川
 カオリン製造元
模範藥品研究所
 科馬坂部細田研光所
 出許 工場字(六四三) 西面五十八(四三三)

<p>金</p> <p>新日本藥房 東京日本橋區本町三丁目 電話 〇八七〇</p>	<p>お茶は 季節五清元圓</p>	<p>皮膚泌尿花柳病 時樂博士 渡邊晋</p>	<p>早晚苦茶明人口 日本茶研 厚十二賜事 イロ及び</p>
<p>新日本藥房 東京日本橋區本町三丁目 電話 〇八七〇</p>	<p>要藥 小村榮三 内科 コメラ 病院 入降 隨意 隨時 應病 急 電話 〇八七〇</p>	<p>新日本藥房 東京日本橋區本町三丁目 電話 〇八七〇</p>	<p>花柳病外科 新日本藥房 東京日本橋區本町三丁目 電話 〇八七〇</p>

[illegible]

【50】

宮田重雄 繪

ラヂオ見学【六時】

陸軍士官學校

六十四年、長い歴史を有する陸軍士官學校は、今度東京市大塚ヶ丘から、荒川臨川町に移転し、り市ヶ谷に、陸自士官學校となつて、今日その名を知られた。今日その歴史を、士官學校の沿革をお聴へいたし、

大日本聯合新聞
同八時三十分（東京）
ラヂオ・ドラマ
此處をゆく
國語・英・外

陸軍士官學校

仁川府海野町
 代理店 野口商會
 東京區二丁三番
 芝公園三丁目一番
 芝公園三丁目一番
 芝公園三丁目一番

八四〇 山村聰
兄穂保、弟穂村は血を分け

[illegible]

を斬つて斬りまく
岡身内の竹槍を太

を解つて斬りつけたが、遂に斬
り通さぬ竹節を太鼓に受けて、
「お大層な勇気に勇に斬れ、下へ襲
賀山明徳様内は且事な斬先とする
といふ六太守公儀の一節
と云ふ光景であつた。

奪取の後園

更に生馬に轉じて、黒十二
は足元だが、此處は七十五を七十七
と打て、これに機に六十二を五十三
と滑出し、白六十五の一子影の計
がよかつた。

白にも黒星

なほ白に黒百二十一、透つた
その手で、右平胸、白百二十一、そ
の所打ち、露筋不明であつた。そ

墨一より二百三十二手

勝敗の原因 覆面道人

攻撃の餘地

本局は白五十七まで、白黒とも
ことごとく抑振はない。先づ風の
間手前まで、白五十七で、攻撃の餘
地は九十九で治まり、後に黒百九
十四の下で、即ち白五十七の一
歩も開きない不毛の地に走つて、
即ち白五十九、六十三の、白王
と替つて適合しない。このみな
ず黒六十四と後手引ぎ、これに

大局は前部八段と、本年二十

たが、兩者の都合によつて、全編
太の強者、三段中西郷太郎氏と、
北北海道之雄、三段水枝一郎氏
の、四段雄基の一同を闘ふ事にな

ボコ
ンツ
ブク
、
鑑手
属
茂
安藤商會
電話二八二

扇印、系印

工機

品具

[illegible]